

第 2 次 渡名喜村人口ビジョン及び総合戦略



令和 2 年 3 月



渡名喜村

目 次

第1章 人口ビジョン及び総合戦略の基本方針.....	1
1 人口ビジョン及び総合戦略の策定にあたって	1
1-1 はじめに	1
1-2 人口ビジョンの基本的な考え方	2
1-3 計画期間	2
2 渡名喜村における人口の現状分析	3
2-1 人口の推移と将来推計	3
2-2 自然増減、社会増減の状況	5
2-3 人口の移動状況	6
第2章 渡名喜村人口ビジョン	7
1-1 目指すべき将来の方向	7
1-2 人口の将来推計	7
1-3 将来における自然増減と社会増減の影響度.....	8
第3章 渡名喜村まち・ひと・しごと創生総合戦略	9
1 総合戦略の基本的な考え方	9
1-1 総合戦略の位置付け	9
1-2 戦略策定の趣旨	9
1-3 計画期間	9
2 渡名喜村の人口の現状と将来展望	10
2-1 人口の現状分析	10
2-2 人口増の将来展望.....	10
3 総合戦略の基本目標	11
3-1 基本目標	11
3-2 基本目標の実現に向けた施策体系	12
3-3 施策体系と重要業績評価指標（KPI）	15
4 第2次総合戦略の主な事業と関連するSDGsの目標.....	29
4-1 持続可能な開発目標（SDGs）とは	29
4-2 第2次総合戦略の主な事業と関連するSDGsの目標一覧	31

第1章 人口ビジョン及び総合戦略の基本方針

1 人口ビジョン及び総合戦略の策定にあたって

1-1 はじめに

人口減少・少子高齢化や、東京一極集中の進行により、地方創生への取り組みが求められる中、本村では2016年（平成28年）に、目指すべき人口の将来展望として「2035年までに総人口約500人まで回復させる」ことを目標に「（第1次）渡名喜村人口ビジョン及び総合戦略」を策定しました。そして、将来にわたって活力ある地域を維持していくため、様々な施策を推進してきたところでありますが、人口減少になかなか歯止めがかからない状況となっています。

そのような状況から、社会のニーズや本村の現状を十分に把握し、本村の将来に展望が拓けるような「第2次 渡名喜村人口ビジョン及び総合戦略」を策定し、これまでの村づくりの思いを継承しながら、村民が一致団結して取り組み、「住みよいむら」「活気あるひと」「魅力あるしごと」の3つを軸に村づくりを進め、人口増加を図っていきます。



1-2 人口ビジョンの基本的な考え方

「(第 1 次) 人口ビジョン」を踏まえ、日本における全国の最新の人口動態及び国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という。）の将来人口推計を基に、本村の人口の推移と将来展望を示すものです。

1-3 計画期間

- 2065（令和 47）年までの将来人口推計を行います。
- 人口ビジョンの目標年次は、長期に渡りしっかり取り組めるよう、10 年後の 2030 年を目標とします。

2 渡名喜村における人口の現状分析

2-1 人口の推移と将来推計

(1) 人口の推移と将来推計

国勢調査人口を基にした人口推計によると、本村の人口は「年少人口」「生産年齢人口」「老年人口」とともに減少し、2045年には「総人口」が219人まで減少すると推計されます。

本村の住民基本台帳人口は、現状でも推計より人口が30人程少ないことにより、推計よりも人口減少が進んでいる状況です。

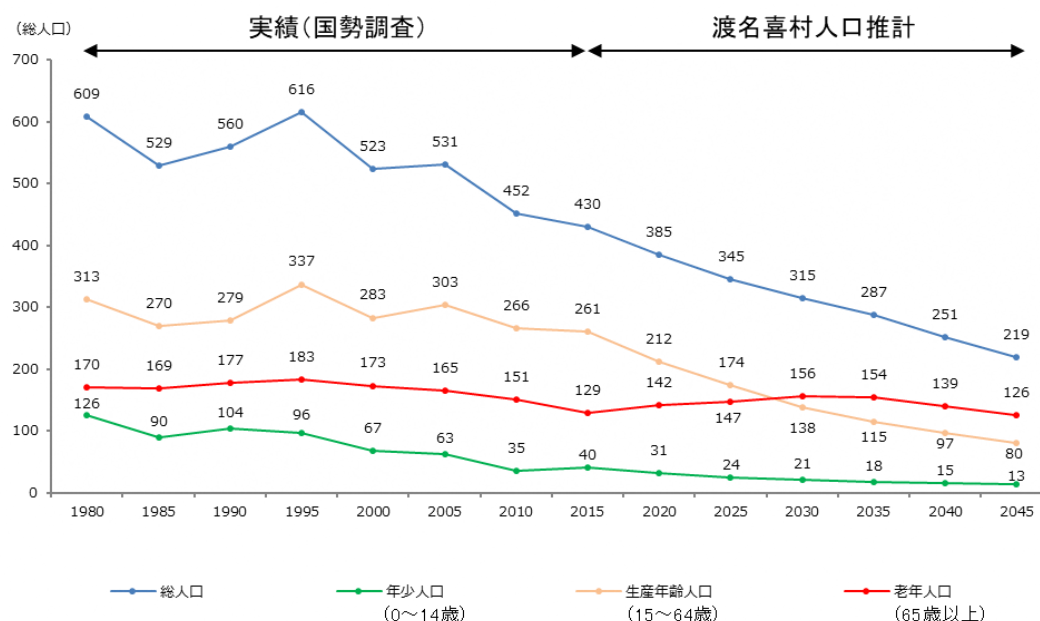


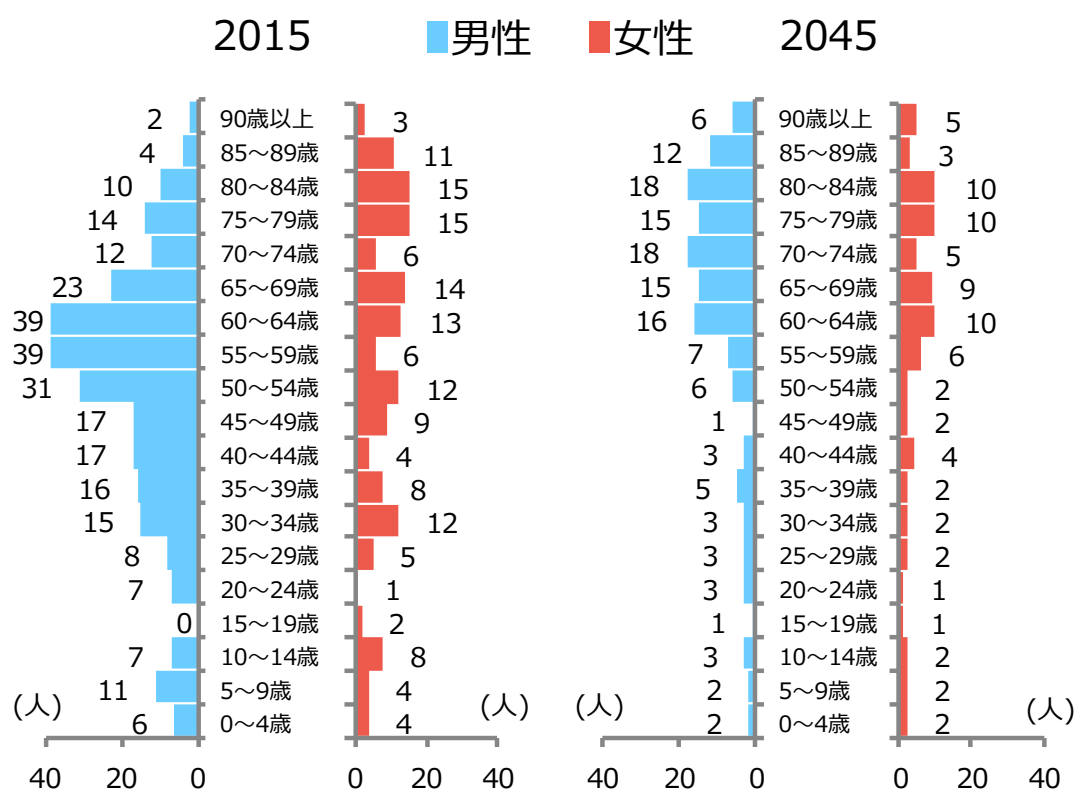
図1 人口の推移と推計人口

(年) (人・%)		実績 (国勢調査)								渡名喜村人口推計					
		1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
実数 (人)	年少人口	126	90	104	96	67	63	35	40	31	24	21	18	15	13
	生産年齢人口	313	270	279	337	283	303	266	261	212	174	138	115	97	80
	老年人口	170	169	177	183	173	165	151	129	142	147	156	154	139	126
	総人口	609	529	560	616	523	531	452	430	385	345	315	287	251	219
構成比 (%)	年少人口	20.69	17.01	18.75	15.58	12.81	11.86	7.74	9.30	8.05	6.96	6.67	6.27	5.98	5.94
	生産年齢人口	51.40	51.04	49.82	54.71	54.11	57.06	58.85	60.70	55.06	50.43	43.81	40.07	38.65	36.53
	老年人口	27.91	31.95	31.61	29.71	33.08	31.07	33.41	30.00	36.88	46.21	49.52	53.66	55.38	57.53
	総人口														

(2) 人口の男女別・年齢別構成の推移

渡名喜村の人口の男女別・年齢別構成について、2015 年の実績と 2045 年の推計を比較すると、2015 年から 2045 年にかけて老年人口（65 歳以上）は 2.3%減少し、生産年齢人口（15 歳～64 歳）は 69.3%減少、年少人口（0 歳～14 歳）は 67.5%減少します。

人口減少を示す指標として、「第 1 段階：老年人口の増加(総人口の減少)」「第 2 段階：老年人口の維持・微減」「第 3 段階：老年人口の減少」の 3 つに分けられ、渡名喜村は老年人口が減少しているため、人口減少が最も進んだ第 3 段階に達していると思われます。



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

図 2 5 歳階級別人口ピラミッド

2-2 自然増減、社会増減の状況

渡名喜村の人口の社会増減は、2006 年以前は増減を繰り返していましたが、2007 年の大きな社会減（転出超過）以降は、人口がおおかた減になっている状況にあり、自然増減については、2011 年を除き、増がなく減となっています。

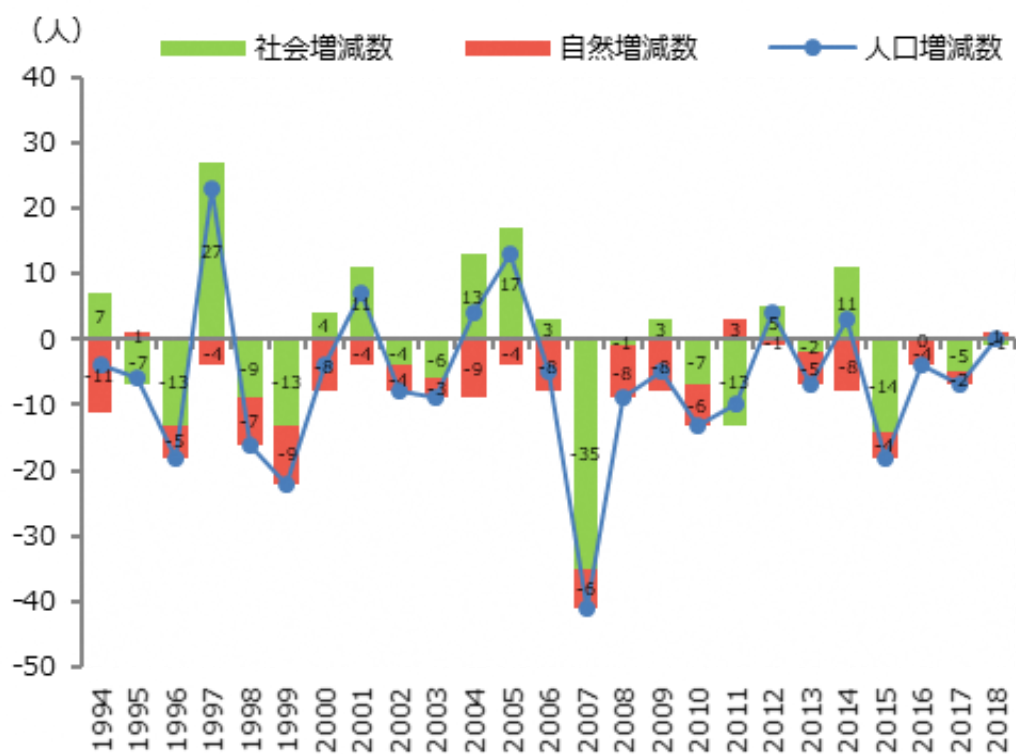


図3 自然増減・社会増減の推移

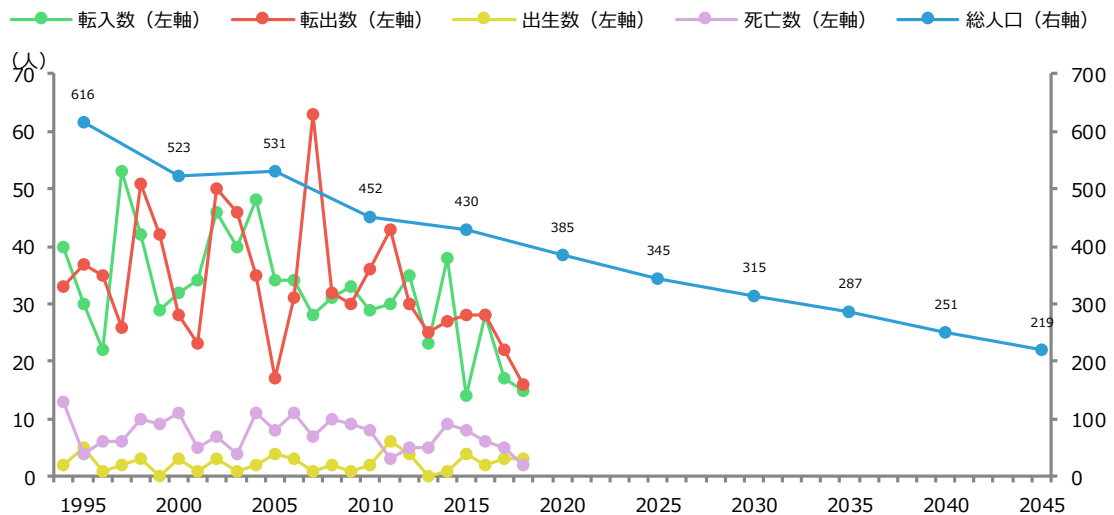
2-3 人口の移動状況

●出生数・死亡数/転入数・転出数

出生数・死亡数を見ると、出生数は25年間一桁台で移動し、死亡数はほとんどの年において出生数を上回っていて、自然減が進行しています。

転入数・転出数については、転入・転出ともに増減が繰り返されています。転入してきた方が転出するという状況が見られ、結果的に増につながっていません。

人口の全体の推移としては、著しい減少傾向にあると言えます。



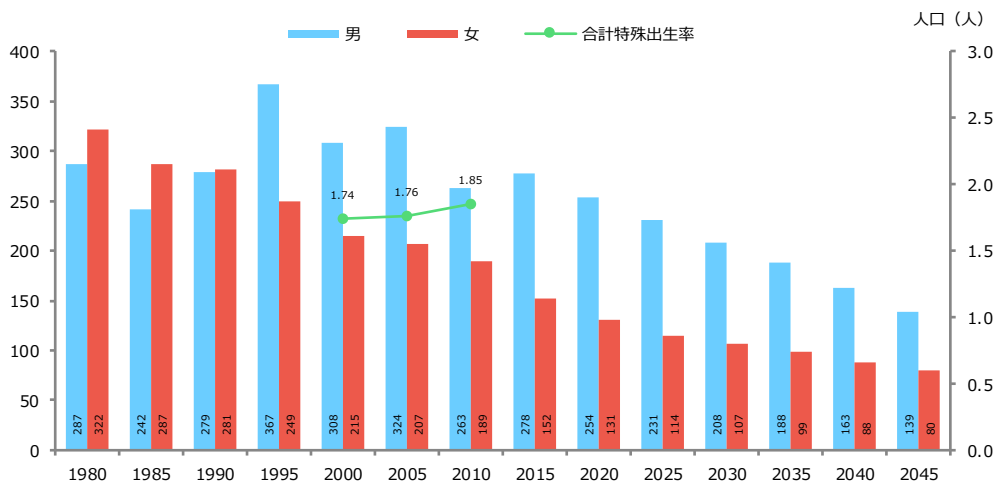
【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

【注記】2015年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

図4 渡名喜村の出生数・死亡数、転入数・転出数

●男女別人口・合計特殊出生率の推移

本村の男女別の人口を見ると、男性の人口が女性より多くなっている状況です。



【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】2015年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

図5 渡名喜村の男女別人口・合計特殊出生率の推移

第2章 渡名喜村人口ビジョン

1-1 目指すべき将来の方向

本村の人口は、人口の移動状況から、高齢者の増加が出生数を上回り、他地域からの転入者もほとんどなく、社会増が見込めない状況にあると考えます。

子ども達が進学に伴い島を離れていくことから、現在の人口を保つことは厳しく、出生数が死亡数を上回ることとは考えにくく、自然増は見込めません。

人口減少に歯止めをかけるためには社会増を実現していくことが重要です。

1-2 人口の将来推計

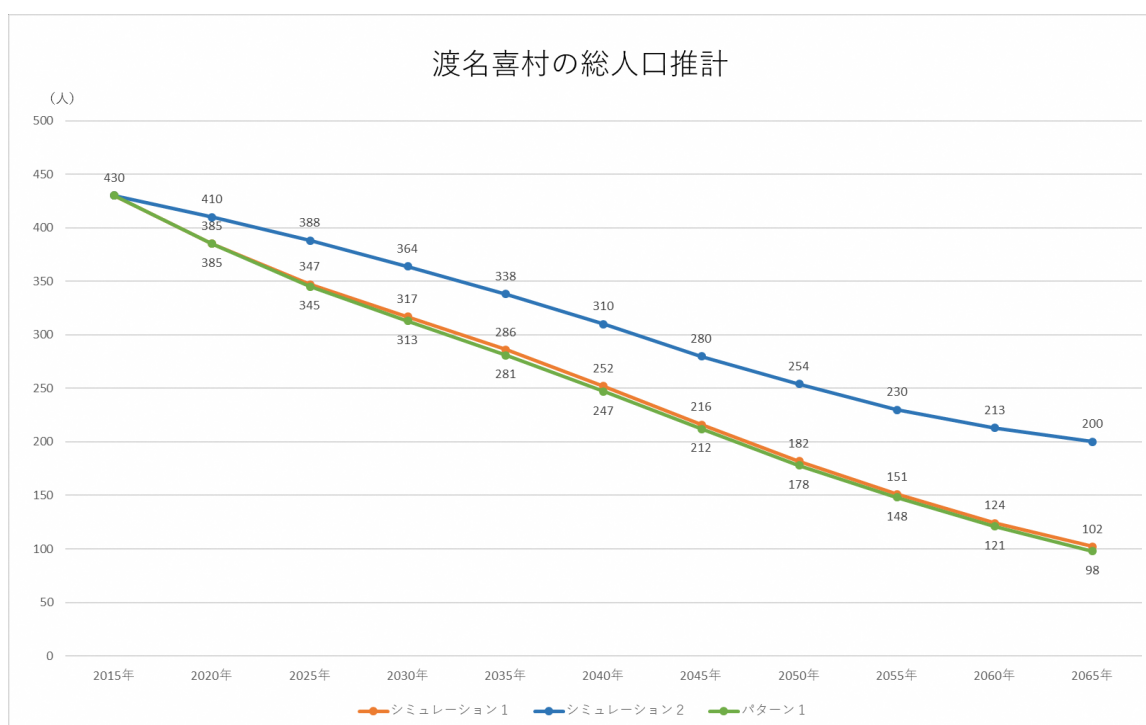


図6 渡名喜村の将来人口予測

【出典】

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

【注記】

パターン1：全国の移動率が今後一定程度縮小すると仮定した場合の渡名喜村の人口推計（社人研推計準拠）。

シミュレーション1：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇したとした場合の渡名喜村の人口シミュレーション。

シミュレーション2：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇し、かつ人口移動が均衡したとした（移動がゼロとなった）場合の渡名喜村の人口シミュレーション。

1-3 将来における自然増減と社会増減の影響度

本村の人口推移に与える影響度について、自然増減と社会増減が与える影響度を考察すると、自然増減の影響度が2（100～105%）、社会増減の影響度が4（120～130%）となっており、人口の社会増をもたらし施策に取り組むことが、人口減少度合いを抑える上でより効果的であると言えます。

表1 自然増減と社会増減の影響度

		自然増減の影響度(2045年)					
		1	2	3	4	5	総計
社会増減の影響度(2015年)	1	今帰仁村、宜野座村、八重瀬町、南城市	沖縄市、宜野湾市、中城村	北谷町、恩納村	—	—	9 (21.95%)
	2	渡嘉敷村、金武町、南風原町、石垣市、与那原町、竹富町、豊見城市、東村	読谷村、うるま市、浦添市、北中城村、名護市	那覇市、大宜味村	—	—	15 (36.59%)
	3	粟国村、宮古島市、本部町、与那国町、糸満市	嘉手納町	西原町	—	—	7 (17.07%)
	4	北大東村、南大東村、伊是名村	渡名喜村、国頭村	—	—	—	5 (12.20%)
	5	伊平屋村、伊江村、久米島町、多良間村、座間味村	—	—	—	—	41 (100.00%)
	総計	25 (60.98%)	11 (26.83%)	5 (12.20%)	—	—	—

【出典】

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

【注記】

自然増減の影響度：シミュレーション1の総人口／パターン1の総人口の数値に応じて、以下の5段階に整理。「1」＝100%未満、「2」＝100～105%、「3」＝105～110%、「4」＝110～115%、「5」＝115%以上。

社会増減の影響度：シミュレーション2の総人口／シミュレーション1の総人口の数値に応じて、以下の5段階に整理。「1」＝100%未満、「2」＝100～110%、「3」＝110～120%、「4」＝120～130%、「5」＝130%以上。

第3章 渡名喜村まち・ひと・しごと創生総合戦略

1 総合戦略の基本的な考え方

1-1 総合戦略の位置付け

第2次総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法第10条の規定に基づき、国や県の総合戦略を勘案し、本村の実情に即した基本的な計画とします。

策定にあたっては、(第1次)総合戦略で実施してきた施策の進捗や検証、村民アンケートにより施策への満足度や継続の意向を確認し、それらを整理して実現性及び実効性のある総合戦略として計画します。

1-2 戦略策定の趣旨

日本の人口は、平成20年の1億2,808万人をピークに毎年減少しており、平成24年1月の国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研と略す)推計によると2060年には8,700万人まで減少するとされています。

また、平成26年5月には、元総務大臣の増田寛也氏を座長とした日本創生会議が、2040年には子どもを出産する女性の9割強を占める若年女性(20~39歳)人口が半減し、全国の市区町村の半数は「消滅」の危機に直面するとのシミュレーション結果を公表しています。

これらの状況を受け国では、平成26年11月28日に「まち・ひと・しごと創生法」施行、12月27日には「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を閣議決定し、人口減少に歯止めをかけ、東京一極集中を是正することで、2060年に1億人程度の人口を確保する目標を設定しています。

渡名喜村の人口は、令和2年2月時点で355人となっていますが、社人研の推計では2040年には247人に、2060年には121人まで減少するとされており、人口減少や少子化対策について早急かつ効果的な対策が求められます。

しかし、仮に短期間で出生数が増えたとしても、それが効果を表すには生まれた子どもが成人するまで数十年の時間と、戻ってきたい村となっているための施策が必要であることから、子育て環境の整備や若者の移住施策に取り組むと共に、人口減少が続くこれからの時代に対応できる村づくりを進めていくための「第2次渡名喜村総合戦略」を策定します。

1-3 計画期間

2020(R2)年度から2026(R8)年度の7か年計画とします。

※総合計画の前期計画期間と合わせて実施します。

2 渡名喜村の人口の現状と将来展望

2-1 人口の現状分析

渡名喜村の人口は、1970 年代（約 1,000 名）以降（戦後の人口安定期以降）、年々減少しています。

1985 年以降は回復基調でしたが、1995 年（616 名 国勢調査）を境に再び減少傾向になり、渡名喜村人口ビジョン及び総合戦略で目標とした人口を下回り、2015 年以降も減少を続けています。

2-2 人口増の将来展望

島を離れた方や、島にゆかりのある方の U・I ターンを増やす施策を展開し、50 人の社会増を計画期間内に目指します。（令和 2 年 1 月末時点の渡名喜島の総人口 354 人）



渡名喜の自然・文化・歴史を受け継ぎ広め
戻りたい島 移りたい島を実現する



- 渡名喜島の「住みよいむら」を整える
- 渡名喜島の「活気あるひと」を育てる
- 渡名喜島の「魅力あるしごと」を創出



3-2 基本目標の実現に向けた施策体系

第2次総合戦略の目標年度は、総合計画の前期の計画年度と整合をとり、2026（令和8）年度とし、第1次総合戦略の目標を見直し、新たな目標を加えるなど第2次総合戦略の目標を設定しました。

基本目標1 渡名喜島の「住みよいむら」を整える

人口の自然減に対応するためには出生率の向上が重要ですが、結婚や出産はあくまでも個人の自由な決定に基づくものであり、その事が重荷になるようなことはあってはなりません。

大切なのは若い人が結婚して、子育てをしようという気持ちになれることです。そのために子育て支援の継続や、親の世代の負担を軽減し、若い方にとって子育てしやすい環境を整えます。

また、少し前までのような豊かな海の環境改善や、段々畑など耕作面積の拡大、伝統的建造物群保存地区を軸としたむらづくりなどを行い、村民が豊かに生活ができるよう自然環境及び住環境を整え、多くの人が渡名喜村で暮らしたいと思える「住みよいむら」にします。

達成指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2026年度)
合計特殊出生率 (一人の女性が一生の間に生む子どもの数)	—	1.89人
総人口に占める児童生徒の割合	7.6%	8.2%
社会増減数	－49人	＋50人 (計画期間累計)

【施策体系】

1. 妊娠・子育て支援
 - (1) 子どもの医療費の助成制度の継続
 - (2) 妊婦健診制度の継続
2. 島が一体となった子育て環境の整備
 - (1) 島の子育て体制整備
 - (2) 島の子育て体制との連携による子育て支援策の推進
3. 島の生活利便性の向上
 - (1) 交通利便性の向上
 - (2) 移住者受け入れ環境の整備
 - (3) ICTを活用した生活の質の向上
 - (4) 豊かな自然環境と、安心な住環境づくり

基本目標 2 渡名喜島の「活気あるひと」を育てる

人口減少に歯止めをかけ、将来に展望の持てる村にするには、何よりも村民各個人が自ら学ぶ意欲を育み、幅広い知識と教養を身につけ、創造性・国際性豊かで進取の気性のある「活気あるひと」を育むことが肝要です。

そのために、いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができ、生活に潤いと活力を生む生涯学習社会の実現を図ります。また、村民同士及び出身者等と絆を深め連帯のある協働した村づくりを通して、自主・自立の精神・勤労を重んじる態度を育むとともに、島への愛着と誇りを持ち、自然を守り郷土文化の継承・発展に寄与することのできる人材を育成していきます。

このように「人材をもって資源と為す」をまちづくりの基軸とし、社会や地域に積極的に関わる取組や、自分らしい生き方を見出す取組等を進め「活気あるひと」を育成していきます。

達成指標	現状値 (2019 年度)	目標値 (2026 年度)
生涯学習に取り組む人の割合	—	15.0%
地域貢献活動・社会活動をする人の割合	—	80.0%

【施策体系】

1. 自ら学ぶ意欲を持ち、幅広い知識と教養のある人づくり
 - (1) 生涯学習の推進体制・基盤を整備及び推進
 - (2) 村民の学習ニーズに応える学習機会を設定
 - (3) 多様化・高度化する社会の変化に対応する教育を推進
2. 郷土を愛し、郷土の自然と文化を守り継承・発展に寄与する人づくり
 - (1) カシキー・海神祭・シマノーシ等の伝統・村行事への村民の参画
 - (2) 文化財の発掘及び村指定及びその有効活用を推進
 - (3) 村民及び出身者、来訪者による歴史民俗資料館の活用を促進
3. 地域に愛着と誇りを持ち、協働のまちづくりを推進するひとづくり
 - (1) 朝起き会・水上運動会への村民の積極的な参画
 - (2) 村民による「伝建のまちづくり」を推進
 - (3) 村民による自然環境及び生活環境の保全と整備を推進
 - (4) 地域を大切にし、地域を誇りに思う機運の醸成

基本目標 3 渡名喜島の「魅力あるしごと」を創出

村の基幹産業である農漁業は個人経営体が多く、従事するために必要なスキルや経験などの面から、新規従事してもなかなか定住に繋がらないことに加え、農業・漁業者の後継者不足も深刻化してきています。

また、第二次・三次産業についても、離島であり限られた経済圏となっていることなど大規模な事業展開ができないことや、観光産業についても発展途上であり、雇用の場の多くは確保できていない状況であります。

村における少子化の原因となっているのは、出生率の低さもありますが、子どもを産み・育てることを期待される若年層（20～39 歳）人口が少ないことがより深刻であることから、まずは若年層のための仕事をつくり、定住に結びつけることが必要となります。

村が持っている資源・特性と融合した「魅力あるしごと」の創出を模索するとともに、農漁業の後継者を増やす取り組みを行っていきます。

達成指標	現状値 (2019 年度)	目標値 (2026 年度)
農業就業人口	23 人	25 人
個人漁業経営体数（専業＋兼業）	46 人	48 人
観光入込客数	4,999 人	6,000 人
担い手を確保	—	2 人

【施策体系】

1. 農業・漁業・新産業の創出

- (1) 経営の安定化支援
- (2) 産業の担い手を育てる
- (3) 産業の創業支援
- (4) 新たな農業・漁業の開発及び特産品の開発

2. 観光産業の振興

- (1) 特色を活かした観光メニューの充実
- (2) 渡名喜村の観光プロモーションの推進
- (3) 民泊事業の推進
- (4) 観光協会の育成

3-3 施策体系と重要業績評価指標（KPI）

基本目標 1 渡名喜島の「住みよいむら」を整える

○施策体系と重要業績評価指標

① 妊娠・子育て支援

施策の内容		
●各種予防接種を推進し、村民の健康増進に努めます。 ●若い世代が、出産や子育てに希望が持てるよう、各種予防接種、妊婦健診、子ども医療費を助成し、子育て世代の経済的負担を引き続き軽減します。		
重要業績評価指標(KPI)	現状値	目標値
インフルエンザ予防接種を受けた人の割合	65.3% (2019 年度)	80.0% (計画期間中累計)
おたふくかぜワクチン予防接種を受けた人の割合	11 名 (2019 年度)	100.0% (計画期間中累計)
MR ワクチン予防接種を受けた人の割合	—	100.0% (計画期間中累計)
子ども医療費助成額	2 (百万円) (2019 年度)	2 (百万円) (計画期間中累計)
妊婦健診の補助を受けた人数 (交通費・宿泊費)	11 名 (2019 年度)	15 名 (計画期間中累計)

【主な事業】

(1) 子ども医療費の助成制度の継続
●<u>子ども医療費の助成</u> こども医療費の自己負担分を助成することによって、子どもの健やかな成長に寄与し、子育て世帯の経済的負担軽減を図ります。 ●<u>予防接種費用の助成 [インフルエンザ予防接種無料化、おたふくかぜワクチン予防接種無料化、MR ワクチン予防接種無料化]</u> 子どもの各種予防接種にかかる費用を無料化することによって、伝染病や感染症への感染を予防し、子育て世代の経済的負担軽減を図ります。また、予防接種の投与を推進することによって、子どもの健やかな成長に寄与し、また感染力が強く重い病気の島内集団感染のリスクを軽減します。

(2) 妊婦検診制度の継続
●<u>妊婦健診費用の助成</u> 妊婦健診にかかる交通費と宿泊費を一部補助することによって、妊婦の経済的負担を軽減し、出生率の向上に寄与します。

② 島が一体となった子育て環境の整備

施策の内容		
●保育施設を活用し、村民の育児と仕事・家事の両立を支援します。 ●子育て支援体制を見直し、質の高い子育て支援サービスを推進します。 ●村民が安心して育児に取り組み、島が一体となった子育て支援体制を構築します。 ●子育てがしやすい島をつくるために、小規模保育所等の子育てを支援する場を確保します。		
重要業績評価指標(KPI)	現状値	目標値
子ども預り所の場の確保	0カ所	1カ所
小規模保育所等の整備活用	—	1カ所
保育士の人数	0名	3名
育児交流会実施回数	30回 (計画期間累計)	50回 (計画期間累計)
育児訪問実施回数	5回 (計画期間累計)	15回 (計画期間累計)

【主な事業】

(1) 島の子育て体制整備
●<u>子ども預り所の活用</u> 子どもの預り施設を活用して、子育て世代の負担軽減や女性の社会進出を支援し、子育て環境の充実を図ります、また、幼老複合施設であることを活かし、高齢者の活力の増加、子どもの豊かな心の育成を図ります。 ●<u>保育士の確保</u> 新しい子ども預り所を安全に運営するために必要な保育士を確保することによって、安心して子どもを預けることが出来る子育て支援体制を整備します。

(2) 島の子育て体制との連携による子育て支援策の推進

●育児交流会

育児を行っている母親や父親が集まって、情報交換や相談、知識を習得する場を設け、また、専門家から指導・助言を受けられる育児交流会を実施することによって、島が一体となった子育て環境を整備し、育児の負担や不安の軽減を図ります。

③ 島の生活利便性と環境の向上

施策の内容		
●交通利便性を高めるために、フェリーの1日2便化を働きかけます。 ●村内の空き家を活用して、移住者を受入れるための住宅を整備します。		
重要業績評価指標(KPI)	現状値	目標値
フェリーの運航回数	1日1便	1日2便
空き家を活用した移住受入	—	10世帯 (計画期間累計)
生活環境の満足度向上	75.6% アンケート結果(暮らしやすい+どちらかといえば暮らしやすい)	90.0%

【主な事業】

(1) 交通利便性の向上

●船便の利便性向上

フェリーの1日2便化について関係機関と調整を図ります。

渡名喜村への来島は、久米商船の運営するフェリーが主であり、日帰りは難しい状況です。

宿泊の場合でも渡名喜村から那覇へ向かう船は午前中の時間帯であり、村内でゆっくり過ごしたいという需要には応えられません。

連日、又は数日おきに2便寄港していただくことで、来島しやすく村内でゆっくりとした時間を過ごす環境づくりを促進します。

(2) 移住者を受け入れる環境の整備

●空き家を活用した住居の確保

村内の空き家を活用した移住希望者の住宅確保を行います。

空き家の活用には、所有者の同意が必要であり大きなハードルとなりますが、居住空間が限られた渡名喜島では、空き家の活用が島の活性化には必要不可欠です。

そのことをご理解いただき、所有者の意向醸成や、不安材料の解消策を検討し、空き家を活用した定住促進策を図ります。

また、空き家の供給が極端に限られる場合は、空き地についても活用策を検討します。

(3) ICT を活用した生活の質の向上

●光ブロードバンド環境の活用

高速通信環境を活用して、地理的な情報格差を是正し、教育、行政、福祉、防災等の高度化を図ります。

(4) 豊かな自然環境と、安心な住環境づくり

●集落内の生活環境の改善

重要伝統的建造物群保存地区に選定され、県立自然公園に指定されているのは渡名喜村だけです。その環境を保全・再生し、渡名喜村らしい魅力を高めます。

そのためには、集落環境では福木等の剪定と、白砂の道路を修復し、側溝の除去、集落内への車両の進入禁止を検討し、集落環境の再生とともに歩行者の安全性を高めます。

●海浜環境の再生

渡名喜村は、島の周りには水深の浅い海が広がっています。透明度が高くウミガメも泳ぐ魅力的な海です。水上運動会の会場であったり、海水浴に利用したりと、島の生活や観光にも欠かせないものとなっています。

しかし、お年寄りの方々から聞かれるように、砂の堆積が進むとともに、サンゴが激減しています。

堆積した砂の除去や、防潮堤の除去等を検討し、海浜環境の再生を行います。

基本目標 2 渡名喜島の「活気あるひと」を育てる

○施策体系と重要業績評価指標

① 自ら学ぶ意欲を持ち、幅広い知識と教養のある人づくり

施策の内容		
●生涯学習の推進体制・基盤を整備します。 ●村民の学習ニーズに応える学習機会を設定します。 ●多様化・高度化する社会の変化に対応する教育を推進します。		
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値
生涯学習施設の設置	—	設置 (令和 4 年供用開始)
生涯学習フェスティバル等発表会の開催	—	年 1 回 (令和 3 年開始)
教育講演会及び講習会の開催	—	各年 1 回
ICT を活用した遠隔交流の実施	—	年 1 回
海外ホームステイ・他地域交流の実施	—	年 1 回
外国語活動の実施	—	年 1 回

【主な事業】

(1) 生涯学習の推進体制・基盤を整備するための事業
●<u>生涯学習の中心的な施設の設置</u> 多目的拠点施設や歴史民俗資料館等を活用した、生涯学習環境をつくれます。

（２）村民の学習ニーズに応える学習機会を設定するための事業

●各種サークル・教室活動の活性化

村民各個人が自ら学ぶ意欲を育み、幅広い知識と教養を身につけることができるように、各種サークル・教室活動の活性化を図ります。

●生涯学習フェスティバル等の発表会の開催

各種サークル・教室活動の成果を発表する機会を創出し、村民の生涯学習に対する意欲を高めます。

●教育講演会及び講習会の開催

教育等に関する講演会及び講習会を開催し、村民のスキルアップを目指します。

（３）多様化・高度化する社会の変化に対応する教育を推進するための事業

●ICT 環境の整備及び ICT 機器を活用した遠隔交流事業の実施

Society 5.0 時代を生きる子供たちのために、ICT 環境の整備及び ICT 機器を活用した遠隔交流事業を実施します。

●海外ホームステイ及び他府県・他地域との交流の促進

村内の子供たちの国際感覚を養うために、海外ホームステイ及び他府県・他地域との交流促進事業を行います。

●異文化理解及び外国語活動の推進

外国語に触れる体験活動を通して、外国語を聞いたり話したりすることに興味を持ち、言語や異文化に対する興味・関心を高めます。

② 郷土を愛し、郷土の自然と文化を守り継承・発展に寄与する人づくり

施策の内容		
●カシキー・海神祭・シマノーシ等の伝統・村行事への村民の参画を推進します。 ●文化財の発掘及び村指定及びその有効活用を推進します。 ●村民及び出身者、来訪者による歴史民俗資料館の活用を推進します。		
重要業績評価指標(KPI)	現状値	目標値
歌の継承活動	—	年 3～4 回
シマノーシ祭映像資料の収集	—	期間内で完成
村行事への村民の参加	—	参加 80%、 出演者 70 人
文化財の発掘・登録の開始	—	令和 4 年度に開始
文化財の指定・登録	—	村指定 10 件
歴史民俗資料館の活用	—	令和 4 年度に開始
歴史民俗資料館の交流の場としての活用	—	令和 4 年度に開始
歴史民俗資料館の村民による案内の開始	—	令和 4 年度に開始
歴史民俗資料館の観光資源としての活用	—	令和 4 年に開始

【主な事業】

（１）カシキー・海神祭・シマノーシ等の伝統・村行事への村民の参画を推進

●カシキーのガイー歌・ンバニクイー歌の継承活動

渡名喜村の大切な伝統を継承するため、カシキーのガイー歌・ンバニクイー歌の継承活動を行います。

●シマノーシ祭の写真及び映像の収録等

シマノーシ祭の写真及び映像の収録等を行い、伝統を継承します。

●伝統行事及び村行事への村民の積極的な参画

渡名喜村の伝統を村民皆で継承していくために、伝統行事及び村行事への村民の積極的な参画を図ります。

（２）文化財の発掘及び村指定及びその有効活用を推進

●文化財の発掘及びその登録活動の開始

文化財の発掘及びその登録活動を開始し、保存や利活用に向けた検討を行います。

●文化財の村指定及びその登録、歴史民俗資料館における活用の推進

文化財の村指定及びその登録を進め、渡名喜村の歴史資源として活用を推進します。

（３）村民及び出身者、来訪者による歴史民俗資料館の活用を促進

●児童生徒及び村民、出身者の島の自然歴史民俗の学習の場としての活用

村内の児童生徒や村民から島の自然歴史民俗の学習する場として活用します。また、本村を訪れる来訪者に対しても活用を促進し、より深く本村を知っていただくよう活用します。

●村民の体験学習等の場及び交流の場としての活用

村民の体験学習等の場として活用を図り、村民同士の交流を促進します。

●村民による来訪者等への案内活動等、生涯学習としての活用

体験学習等を通じて、より深く地域のことを学んだ村民が、自ら案内活動役として来訪者との交流を行う機会を創出します。

●観光資源としての活用など

上記のような活動を行い、観光資源としてより一層魅力を高めます。

③ 地域に愛着と誇りを持ち、協働のまちづくりを推進するひとづくり

施策の内容		
●朝起き会・水上運動会への村民の積極的な参画を図ります。 ●村民による「伝建のまちづくり」を推進します。 ●村民による自然環境及び生活環境の保全と整備を推進します。 ●地域を大切にし、地域を誇りに思う機運の醸成を図ります。		
重要業績評価指標(KPI)	現状値	目標値
朝起き会の継続	継続中	村民の参加者 30 名
村民による水泳指導の実施	実施	毎年 10 日以上
水上運動会への村民参画	実施	村民による運営 村民の参加 70 名以上
村民による集落景観づくり	—	年 3～4 回実施
ヒレーク積み石垣への改修要綱づくり	—	令和 3 年度に策定
伝建保存会の活動の支援	—	令和 4 年度に開始
イノーの再生と水産物の回復への取り組み	—	令和 4 年度に開始
海浜漂着物の回収活動の実施	—	年 2～3 回
社会体験活動の実施	—	年 2～3 回
子供会・青年会の結成	—	令和 4 年度に開始

【主な事業】

（１）朝起き会・水上運動会への村民の積極的な参画

●村民による朝起き会の運営及び積極的な参加

大正時代から 100 年以上続く朝起き会を継続し、村民による運営及び積極的な参加を呼びかけます。

●村民による水泳指導の実施

水上運動会に向けた、村民による子供たちへの水泳指導を実施します。

●水上運動会に向けた会場の設営及び参画

水上運動会に向けた会場の設営及び村民の参画を促します。

（２）村民による「伝建のまちづくり」を推進

●村民による道路の補修及び福木等屋敷林の剪定

集落内の道路や福木等屋敷林の維持管理を村民自ら行っていく取り組みを始めます。

●ヒレーク積み石垣への改修要綱づくり

集落内の石積みをヒレーク積み石垣へ戻していくため、改修要綱づくりを始めます。

●伝建保存会の活動の活性化

伝建保存会の活動を活性化させ、集落環境の保全を図ります。

（３）村民による自然環境及び生活環境の保全と整備を推進

●イノーの再生と水産物の回復を目指す取組の開始

イノーの再生を図り、海の環境を豊かにして水産物の回復を目指します。

●海浜漂着物の回収等生活環境の美化活動の実施

海浜漂着物の回収を行い、自然環境の保全を行います。

（４）地域を大切にし、地域を誇りに思う機運の醸成

●村民による児童生徒の体験及び社会体験活動の実施

地域のことを児童生徒が体験する場をつくれます。

●子供会及び青年会活動等社会教育団体等の結成と活動の開始

子供会及び青年会等を結成し、地域を大切にする心、地域を誇りに思う心の醸成を図ります。

基本目標3 渡名喜島の「魅力あるしごと」を創出

○施策体系と重要業績評価指標

① 漁業・農業・新産業の創出

施策の内容		
●渡名喜村の原風景を再生することで、産業を創出します。 ●村民が意欲的に農業・漁業に取り組めるよう、生産・流通・販売など多面的な支援策を講じて、経営の安定化を支援します。 ●これまで受け継がれてきた産業の新たな担い手の確保に努めます。 ●新たに、農業、漁業、新産業を創業する村民に対して、創業・起業の支援を行います。		
重要業績評価指標(KPI)	現状値	目標値
段々畑の一部復活活用	—	一部実施
村内の資源を活用した特産品の開発	—	2品
耕作作業支援回数	1,360回	1,500回
島にんじんの収穫量	4.9トン	8トン
モチキビの収穫量(精白後)	4.5トン	5.5トン
担い手(農業・漁業)人数	—	2名 (計画期間累計)
事業計画立案・商品改良支援の提供人数	0名	3名 (計画期間累計)
創業・起業人数	0名	3名 (計画期間累計)

【主な事業】

(1) 経営の安定化支援

●農業機材を要する耕作作業の支援

農業機械の使用料免除、農業機材による耕作作業の支援を行うことによって、村民の農業経営の安定化を支援します。

●渡名喜の農水産品推進事業

島にんじん、もちきび、リュウキュウガネブ、マグロ、カツオなど、高品質で評判が良い素材について、県内・県外の製造・流通過程の協力企業のマッチングを支援することによって、特産品のブランド化と販路拡大を図ります。

(2) 産業の担い手を育てる

●就農者・漁業者支援

新規の就農者や漁業者等、後継者に対して農業・漁業技術や経営知識に関する研修を実施することによって、将来の渡名喜村の農業・漁業を担う人材を育成し、主要産業の活性、振興を図ります。

(3) 産業の創業支援

●創業・起業支援

創業・起業に係る手続き、創業時に使える公的融資制度など創業・起業時の相談、セミナー情報の提供等を行うことによって、創業・起業を志す村民を支援します。

●就農者、漁業者向け定住支援制度

多用途住宅の優先申込対象とするなど、村外からの新規の就農者・就業者、後継者、新産業就業者の定住に向けた住居の安定確保を支援します。

●段々畑の一部再生

村の山間部の原風景を再生し、農業・観光の振興を図るために段々畑の一部再生を行います。

その際には、耕作の利便性や適性作物の検討、体験型農業としての観光利用などの可能性を検討し、実施します。

(4) 新たな農業・漁業の開発及び特産品の開発

●新たな特産品の開発

村内の農漁業と連携し、新たな特産品を開発を進めます。

村内の資源を活用した特産品を開発し、6次産業化や村民所得の向上を目指します。

② 観光産業の振興

施策の内容		
●自然・文化・歴史を基調とした独自の観光振興を推進し、渡名喜村の観光産業を活性化させます。 ●観光客と村民の交流の機会を創出します。 ●観光協会の組織強化、効果的な運営を促進します。		
重要業績評価指標(KPI)	現状値	目標値
渡名喜村ならではの新しい観光受入に対する満足度	—	80% (計画期間累計)
村内 Wi-Fi アクセスポイント数	1 箇所	14 箇所 (計画期間累計)

【主な事業】

(1) 特色を生かした観光メニューの充実
●<u>渡名喜の自然・文化・歴史を活かした新しい観光メニューの開発</u> 渡名喜の資源（パークゴルフ、フクギ、水上運動会、フットライト、イノー、農業体験、漁業体験、特産品等）を組み合わせた新しい観光商品の開発に向けて、サンプル商品の市場性検証（ポテンシャル調査、モニターツアーの実施、販売チャネル調査）を行うことによって、渡名喜の自然・文化・歴史を活かした新しい観光メニューを造成します。
(2) 渡名喜村の観光プロモーションの推進
●<u>イメージカラーを用いたブランド化プロモーション</u> 渡名喜の観光資源や観光コンセプトとマッチするカラーを定めて観光プロモーションに活用することによって、渡名喜の魅力を高め、観光振興を図ります。 ●<u>フリーWi-Fi 環境の整備</u> 渡名喜村の訪問者に自由に利用できる通信環境を提供し、便利で安心・安全な滞在時間を過ごすことにより、リピーターの増加を図ります。 ●<u>渡名喜村ロビー展示会開催</u> 県内の民間企業や金融機関の支店ロビーにて展示会を開催することによって、渡名喜の魅力を広め、観光振興を図ります。

(3) 民泊事業の推進

●民泊事業の促進

民泊を推進し、観光客の受け入れ能力の向上と、村民所得の向上を図ります。そのために、受入民家の確保、受け入れ能力の向上、観光協会の機能強化を行います。

(4) 観光協会の育成

●観光協会の組織強化、効率的な運営を支援

観光協会が主体的に渡名喜村の PR や観光客の受け入れ事業が行えるよう、観光協会の育成・支援を行います。

4 第2次総合戦略の主な事業と関連するSDGsの目標

4-1 持続可能な開発目標（SDGs）とは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）は、2015年9月の国連で採択されたもので、国連加盟193カ国が2016年から2030年までの15年間で達成するために掲げた目標であり、環境、経済、社会それぞれの側面を統合的に向上させるため、17の目標と169のターゲットから構成されています。この目標の達成に向け、政府だけでなく、自治体や企業、諸団体、村民にも役割があり、それぞれが協力・連携しあうことが求められています。



- 目標1 (貧困をなくそう)：あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
- 目標2 (飢餓をゼロに)：飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
- 目標3 (すべての人に健康と福祉を)：あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
- 目標4 (質の高い教育をみんなに)：全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
- 目標5 (ジェンダー平等を実現しよう)：ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女児の能力強化を行う
- 目標6 (安全な水とトイレを世界中に)：全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
- 目標7 (エネルギーをみんなにそしてクリーンに)：全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
- 目標8 (働きがいも経済成長も)：包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
- 目標9 (産業と技術革新の基盤をつくろう)：強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
- 目標10 (人や国の不平等をなくそう)：各国内及び各国間の不平等を是正する
- 目標11 (住み続けられるまちづくりを)：包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する
- 目標12 (つくる責任つかう責任)：持続可能な生産消費形態を確保する
- 目標13 (気候変動に具体的な対策を)：気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
- 目標14 (海の豊かさを守ろう)：持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
- 目標15 (陸の豊かさを守ろう)：陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
- 目標16 (平和と公正をすべての人に)：持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
- 目標17 (パートナーシップで目標を達成しよう)：持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

4-2 第2次総合戦略の主な事業と関連あるSDGsの目標一覧

総合戦略では、個々の施策が世界レベルの目標達成に繋がっていることを認識するため、総合戦略で実施する主な事業を、SDGsの17の目標と関連性を示しています。

また、SDGsの理念を施策に反映させるためには、SDGsに対する村民の理解を深め、村内事業所の経済活動において17の目標達成に資する取組を促進することが必要であることから、広報活動等を行いSDGsに対する意識醸成と理解促進を図ります。

基本目標1 渡名喜島の「住みよいむら」を整える

主な事業	関連するSDGsの目標		
子ども医療費の助成	 		1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を
予防接種費用の助成	 		1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を
妊婦検診費用の助成	 		1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を
子ども預り所の活用	  		1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを
保育士の確保	 		3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを
育児交流会	 		3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを
船便の利便性向上	 		11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリツプで目標を達成しよう
空き家を活用した住居の確保	 		11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリツプで目標を達成しよう
光ブロードバンド環境の活用	  		3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを
集落内の生活環境の改善	  		11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナリツプで目標を達成しよう
海浜環境の再生			14 海の豊かさを守ろう

基本目標 2 渡名喜島の「活気あるひと」を育てる

主な事業	関連する SDGs の目標	
生涯学習の中心的な施設の設置	 	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを
各種サークル・教室活動の活性化	 	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを
生涯学習フェスティバル等の発表会の開催	 	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを
教育講演会及び講習会の開催		4 質の高い教育をみんなに
ICT 環境の整備及び ICT 機器を活用した遠隔交流事業の実施	  	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう
海外ホームステイ及び他府県・他地域との交流の促進		4 質の高い教育をみんなに
異文化理解及び外国語活動の推進		4 質の高い教育をみんなに
カシキーのガーイ歌・ソバニクワイ歌の継承活動		11 住み続けられるまちづくりを
シマノーシ祭の写真及び映像の収録等		11 住み続けられるまちづくりを
伝統行事及び村行事への村民の積極的な参画	 	11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう
文化財の発掘及びその登録活動の開始		11 住み続けられるまちづくりを
文化財の村指定及びその登録、歴史民俗資料館における活用の推進	 	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを
児童生徒及び村民、出身者の島の自然歴史民俗の学習の場としての活用	 	4 質の高い教育をみんなに 17 パートナーシップで目標を達成しよう
村民の体験学習等の交流の場としての活用		4 質の高い教育をみんなに
村民による来訪者等への案内活動等、生涯学習としての活用	 	4 質の高い教育をみんなに 17 パートナーシップで目標を達成しよう

歴史民俗資料館の 観光資源としての活用など	4 質の高い教育を みんなに 	4 質の高い教育をみんなに
村民による朝起き会の 運営及び積極的な参加	11 住み続けられる まちづくりを 	11 住み続けられるまちづくりを
村民による水泳指導の実施	3 すべての人に 健康と福祉を 	3 すべてのの人に健康と福祉を
水上運動会に向けた の設営及び参画	17 パートナーシップで 目標を達成しよう 	17 パートナーシップで目標を達成しよう
村民による道路の補修及び 福木等屋敷林の剪定	11 住み続けられる まちづくりを  15 陸の豊かさも 守ろう  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 	11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう
ヒレーク積み石垣への 改修要綱づくり	11 住み続けられる まちづくりを  15 陸の豊かさも 守ろう  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 	11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう
伝建保存会の活動の活性化	11 住み続けられる まちづくりを  15 陸の豊かさも 守ろう  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 	11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう
イノの再生と水産物の 回復を目指す取組の開始	11 住み続けられる まちづくりを  14 海の豊かさも 守ろう  15 陸の豊かさも 守ろう 	11 住み続けられるまちづくりを 14 海の豊かさも守ろう 15 陸の豊かさも守ろう
海浜漂着物の回収等 生活環境の美化活動の実施	11 住み続けられる まちづくりを  14 海の豊かさも 守ろう  15 陸の豊かさも 守ろう 	11 住み続けられるまちづくりを 14 海の豊かさも守ろう 15 陸の豊かさも守ろう
村民による児童生徒の体験 及び社会体験活動の実施	4 質の高い教育を みんなに  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 	4 質の高い教育をみんなに 17 パートナーシップで目標を達成しよう
子供会及び青年会活動等 社会教育団体等の結成と 活動の開始	11 住み続けられる まちづくりを  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 	11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう

基本目標 3 渡名喜島の「魅力あるしごと」を創出

主な事業	関連する SDGs の目標		
農業機材を要する 耕作作業の支援	8 働きがいも 経済成長も	11 住み続けられる まちづくりを	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
渡名喜の農水産品推進事業	8 働きがいも 経済成長も	17 パートナーシップで 目標を達成しよう	8 働きがいも経済成長も 17 パートナーシップで目標を達成しよう
就農者・漁業者支援	8 働きがいも 経済成長も	17 パートナーシップで 目標を達成しよう	8 働きがいも経済成長も 17 パートナーシップで目標を達成しよう
創業・起業支援	8 働きがいも 経済成長も	11 住み続けられる まちづくりを	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
就農者、漁業者向け 定住支援制度	8 働きがいも 経済成長も	11 住み続けられる まちづくりを	8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを
段々畑の一部再生	8 働きがいも 経済成長も	15 陸の豊かさも 守ろう	8 働きがいも経済成長も 15 陸の豊かさも守ろう
新たな特産品の開発	8 働きがいも 経済成長も		8 働きがいも経済成長も
渡名喜の自然・文化・歴史 を活かした新しい 観光メニューの開発	8 働きがいも 経済成長も	17 パートナーシップで 目標を達成しよう	8 働きがいも経済成長も 17 パートナーシップで目標を達成しよう
イメージカラーを用いた ブランド化プロモーション	17 パートナーシップで 目標を達成しよう		17 パートナーシップで目標を達成しよう
フリーWi-Fi 環境の整備	11 住み続けられる まちづくりを		11 住み続けられるまちづくりを
渡名喜村ロビー展示会開催	17 パートナーシップで 目標を達成しよう		17 パートナーシップで目標を達成しよう
民泊事業の推進	8 働きがいも 経済成長も	17 パートナーシップで 目標を達成しよう	8 働きがいも経済成長も 17 パートナーシップで目標を達成しよう
観光協会の組織強化、 効率的な運営を支援	8 働きがいも 経済成長も	17 パートナーシップで 目標を達成しよう	8 働きがいも経済成長も 17 パートナーシップで目標を達成しよう

第 2 次 渡名喜村人口ビジョン及び総合戦略

令和 2（2020）年 3 月

〒901－3692

沖縄県島尻郡渡名喜村 1917 番地の 3

渡名喜村役場 総務課

TEL（098）989－2002 FAX（098）989－2197

